



S.ISHIMITSU & CO.,LTD

株主のみなさまへ

第54期事業報告書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで



石光商事株式会社

証券コード：2750

**お客様のための
安心・安全な商品を
提供します。**

徹底した品質管理と確認検証した
トレーサビリティ

Coffee
Beverage materials

Coffee-related equipment / New items

Food materials

Food for commercial use

Daily life articles

**お客様のご要望に
すばやく適確に
お応えする組織**

専門性が高く、
キャリア豊富なスタッフ

Contents

■ 営業の概況	3
■ TOPICS	6
■ 商品別概況	7
■ 連結財務諸表	9
■ 財務諸表(単体)	11
■ 会社情報	13

お客様へ 一歩先行く タイムリーな 情報提供

優れた商品開発力による
提案型営業の推進



石光会長



駒澤社長

株主の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別の支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第54期(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の営業の概況と決算についてご報告申し上げます。

今後も「皆様方のご支援があるからこそ今日の石光商事がある」ということを忘れず、企業価値を高めるべく一層尽力していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月

取締役会長 石光 輝男
取締役社長 駒澤 啓之

営業の概況

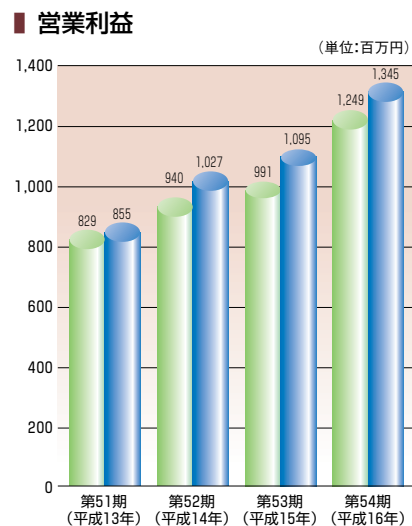
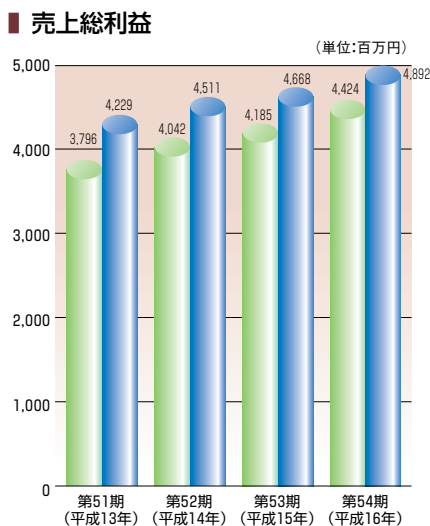
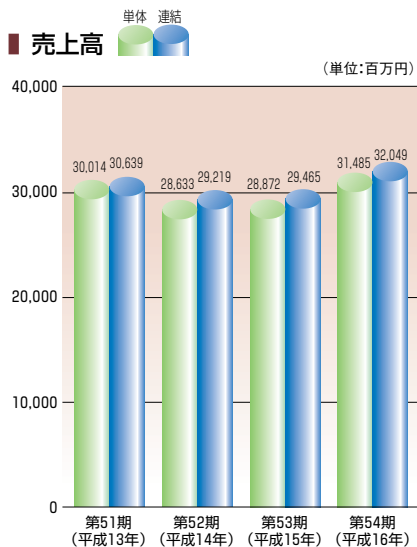
営業の概況

当期におけるわが国経済は、輸出や設備投資の増加により景気は回復基調にあり、個人消費につきましてもようやく明るさが見え始めました。

飲料・食品業界におきましては、個人消費の低迷と低価格化により売上高が伸び悩む中で、米国BSE、鳥インフルエンザ等が相次いで発生し、食品に対する安心・安全がますます求められております。

このような状況のもと、当社は顧客ニーズを迅速・的確に反映した商品開発を進め、積極的な提案営業活動を行い、新商品を食品マーケットに提供してまいりました。また、品質管理体制を強化するとともに、海外農水産物の生産・加工指導を徹底し、従来にも増して安心・安全な商品の開発輸入に努力いたしました。

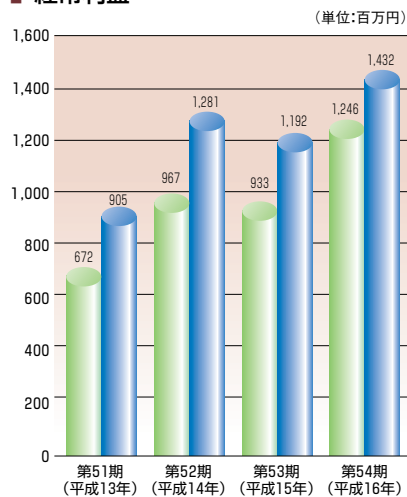
以上の結果、売上高は314億85百万円（前期比



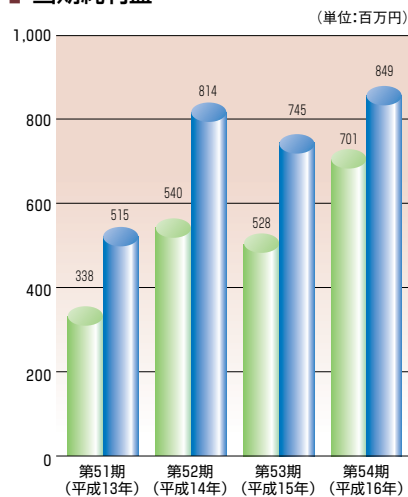
9.0%増)、営業利益は12億49百万円(前期比26.0%増)、
 経常利益は12億46百万円(前期比33.5%増)、当期純
 利益は7億1百万円(前期比32.9%増)となりました。



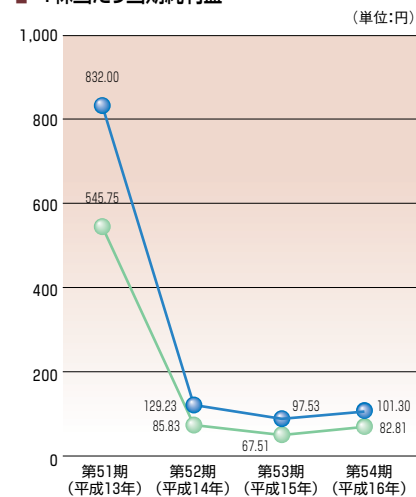
■ 経常利益



■ 当期純利益



■ 1株当たり当期純利益



(注)当社は平成13年12月26日付で株式1株につき10株の分割を行っております。

営業の概況

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、わが国の景気は緩やかに回復すると予測され、消費者心理が上向くとともに、就業世代の若返りによる所得増なき消費回復が見込まれます。しかしながら、飲料・食品業界におきましては、低価格志向・節約志向が続く中で、消費者の安心・安全な食品への関心が一層高まるなど、当社を取り巻く環境は厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社は、消費者の飲食品に対するニーズを的確に捉えて商品開発を行うとともに、食品の安全性を高める体制作りに努めます。

①商品別チーム制の充実による 機能的な組織運営

平成16年4月にチームの一部を再編成して、顧客の要望にさらに機能的に対応する組織といたしました。今後も、常に組織を活性化させ、チーム制の充実を図ってまいります。

②品質管理の徹底

品質検査体制のレベルアップを図るため検査機器の増設を行ってまいりましたが、さらに平成16年4月に品質保証

室を新たに設置いたしました。これにより全社の品質保証体制を確立し、安全な食品の販売に努めてまいります。

③収益基盤の強化 (高付加価値商品の開発、販路の拡大)

収益基盤を強化するために、品目別に以下の施策に努めます。

a) 当社ブランドのプレミアムコーヒー「パラインシリーズ」を消費者対応の小型焙煎機「トルネードキング」で焙煎する小売用店舗の開発を行い、販路の拡大を行います。

b) 当社レギュラーコーヒーの新商品「アロマボトル」の家庭用マーケットでの販売を積極的に拡大してまいります。

c) 冷凍調理済食品は、品質が市場に受け入れられ順調に伸びておりますが、商品開発を加速するとともに、品質管理体制を強化し販売金額を倍増すべく営業展開を図ります。

当社は、「Global Foods Merchandiser」として商品企画・原料生産・製造・販売までトータルな活動を展開し、企業業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

COFFEE

コーヒー“豆”知識

BEANS

「コーヒーの香り」

香りを求めてコーヒーを飲まれる方も多いかと思われます。

香りはコーヒーの最大の魅力と言っても過言ではなく、最近の研究によると、そのリラックス効果は脳波からも確認されているようです。

コーヒーの香りを構成する成分として、花のような華やかな香りを持つ成分、フルーツのような甘い香りを持つ成分、香ばしい成分、等々これまでに900種類以上の物質が見つかります。

ガスクロマトグラフィーという技術を用いると、これら香りの構成成分を分離することができ、さらに、分離した香りを嗅いでみることも可能です。嗅ぎ分けてみると、納豆のような臭いや履いた後の靴下の臭いのおよそコーヒーらしからぬ意外な臭いの発見に驚きます。

さて、この中に単独でコーヒーの香りを出せる物質はあるのでしょうか？ 答えは「No」です。最低でも20種類程度の成分を混ぜないとコーヒーの香りは再現できないと言われております。では、品種や産地を特徴づける物質は？ これも「No」です。特定の品種、あるいは産地に特徴的な香気成分はありません。コーヒーの香りを構成するたくさんの香気成分、その微妙なバランスの違いが香りの違いを生んでいるのです。

コーヒーの香りは複雑です。



TOPICS

●「アロマボトル」を消費者の皆様へネット販売開始

暮らしの気分で香ります。
カフェトピアショップ

Cafe Pina
カフェトピア

KOHJIMETHU & CO., LTD.

お支払・送料 Payment
買い物かご Cart
販売商品一覧 Product List
会社概要 Company Profile

挽きたての香りを
あまさずとじ込めた深い味わい。

世界各地で採集された新鮮なコーヒー豆、アロマエッセンスに熟練した
より深い香りを抽出し、おしほし時間をかけて丁寧に焙煎し、焙煎後しっかりと乾燥し、
AROMA BOTTLE

【カフェトピア・アロマボトル レギュラーコーヒー】

AROMA

Image showing five Aroma Bottle coffee bottles in various colors (purple, blue, red, orange, green).

当社のオリジナルブランド「カフェトピア・アロマボトル レギュラーコーヒー」をダイレクトにお客様へ販売を始めました。これからも魅力ある様々な商品を皆様にお届けすべく展開してまいります。

●研究開発室のご紹介

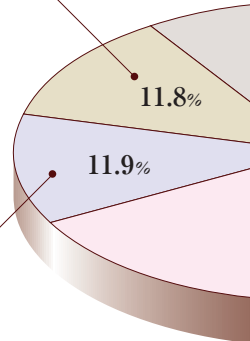
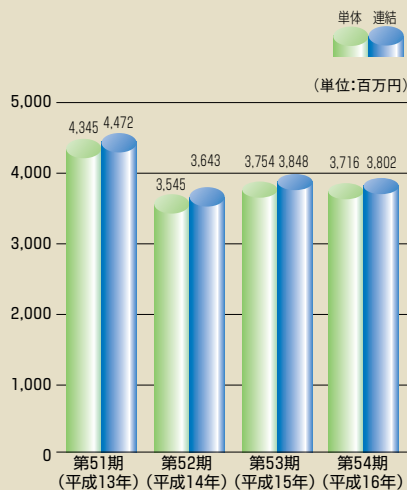
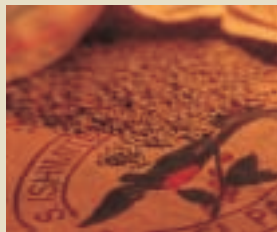


私共は消費者の皆様へ安心してご賞味頂ける食品や飲料をお届けする義務があります。安心・安全だけでなくコーヒー・紅茶等の飲料について研究・調査を日々続け、それらの更なる普及に努力しております。

商品別概況

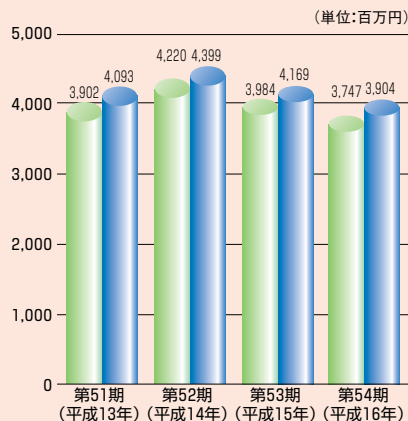
コーヒー生豆

主力商品のコーヒー生豆は、ブラジルの増産により世界的な供給過剰状況が続いていますが、ニューヨーク市場（コーヒー生豆相場期近銘柄）は、前々期の最安値を脱してからやや上昇傾向にあります。期初から期央は55セントから70セントの間の展開となりましたが、平成16年の年明けから上昇期末は73.75セント/ポンドで終了いたしました。コーヒー生豆につきましては、3ヶ月から1年後の先物契約による売買が業界の慣行であり、売上高に相場価格が反映されるのは、6ヶ月程度後であります。当期の売上高につきましては、平均販売単価は横ばいでしたが、販売数量が前期比若干減少いたしましたため、37億16百万円（前期比1.0%減）となりました。



飲料製品及び原料

レギュラーコーヒーの売上高は、当社の自社ブランド商品は増加したものの、大口販売先のOEM商品が減少したため前期比20.1%の減少となりました。インスタントコーヒーの売上高は、原料用が増加しましたものの、OEM生産が減少し、前期比6.4%の減少となりました。茶類その他の売上高は、原料用の紅茶、緑茶及び小売用紅茶が増加し、ウーロン茶等が減少となりましたものの、前期比18.8%の増加となりました。この結果、飲料製品及び原料の売上高は、37億47百万円（前期比6.0%減）となりました。



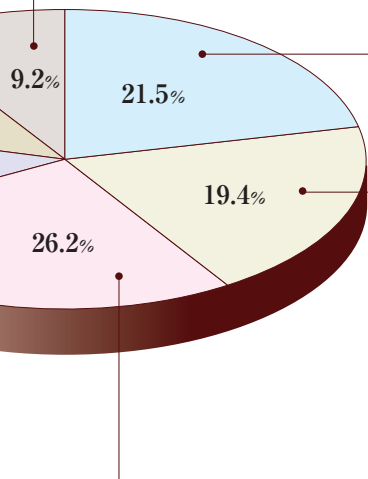
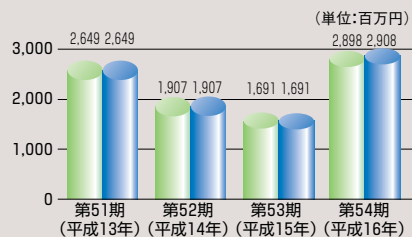
常温食品

輸入食品の売上高は、輸入フルーツ缶詰の枇杷・ミックスフルーツが前期比増加いたしました。また、イタリア食品（パスタ・オリーブオイル）は、期中ユーロの大幅高により輸入価格が上昇したため、取引先に対して値上げを行ったこと等により販売数量が前期比減少となりました。食品の輸出売上高は、前期からの販路開拓の成果により前期比10.0%増加となりました。この結果、常温食品の売上高は、82億36百万円（前期比2.4%減）となりました。



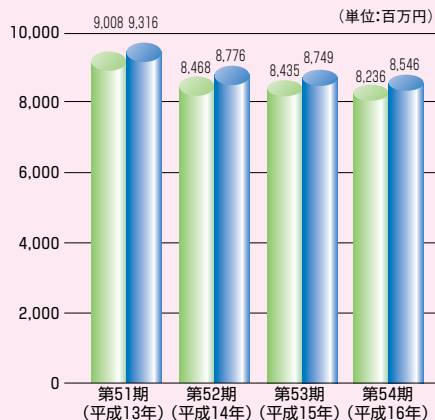
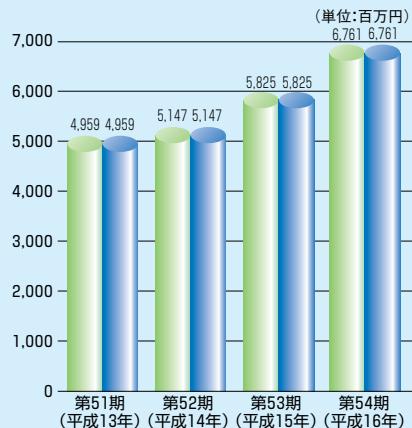
その他

業務用コーヒー関連器具・備品の売上高は、販売先の需要減により前期比減少いたしました。家庭用繊維製品の輸入及び家庭紙等の輸出は、前期比横ばいでしたが、機械・機器の大口輸出が新規に成約できたことにより、その他の売上高は28億98百万円(前期比71.4%増)となりました。



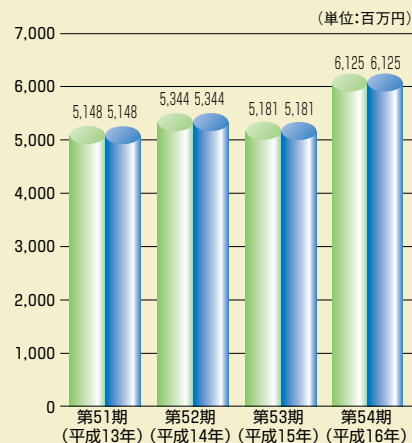
冷凍食品

当社の開発商品である輸入水産加工品(エビ、タコ)、輸入調理加工品(白身魚フライ、ロールキャベツ、八幡巻、ポークカツ、チキン唐揚等)が、回転寿司・和食店・居酒屋等でその品質が評価され、売上高は前期比大幅に増加いたしました。また、国内メーカー商品の売上高も販路を拡大することにより前期比増加いたしました。この結果、冷凍食品の売上高は、67億61百万円(前期比16.1%増)と前期比大幅増加となりました。



食品原料

栗甘露煮及び原料の売上高は、その輸入地を韓国から中国にシフトし加工度の高い商品輸入を拡大したため前期比大幅増加となりました。生鮮野菜の売上高は、国内市況の回復により前期比大幅に増加いたしました。原料用トマト、小豆加工品、水煮野菜等の売上高も国内販売先のニーズに迅速に対応できたことにより前期比増加いたしました。この結果、食品原料の売上高は61億25百万円(前期比18.2%増)となりました。



連結財務諸表 要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当連結会計年度末 (平成16年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成15年3月31日現在)		当連結会計年度末 (平成16年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成15年3月31日現在)
流動資産	9,984	9,439	流動負債	6,379	6,940
現金及び預金	1,678	1,544	支払手形及び買掛金	2,813	2,562
受取手形及び売掛金	5,095	4,235	短期借入金	844	1,615
たな卸資産	2,731	2,785	一年以内返済予定長期借入金	722	574
その他	504	899	賞与引当金	162	178
貸倒引当金	△25	△25	その他	1,837	2,010
固定資産	6,414	5,792	固定負債	3,166	2,115
有形固定資産	2,820	2,918	長期借入金	1,698	1,019
建物及び構築物	1,153	1,228	その他	1,468	1,095
土地	1,395	1,395	負債合計	9,545	9,055
その他	271	295	少数株主持分	186	201
無形固定資産	9	10	資本金	623	623
投資その他の資産	3,584	2,863	資本剰余金	357	357
投資有価証券	2,450	2,163	利益剰余金	5,646	4,997
その他	1,189	755	その他有価証券評価差額金	43	△0
貸倒引当金	△54	△54	自己株式	△4	△2
資産合計	16,399	15,231	資本合計	6,666	5,975
			負債、少数株主持分及び資本合計	16,399	15,231

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	前連結会計年度 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
売上高	32,049	29,465
売上原価	27,156	24,796
売上総利益	4,892	4,668
販売費及び一般管理費	3,546	3,573
営業利益	1,345	1,095
営業外収益	213	267
営業外費用	126	170
経常利益	1,432	1,192
特別利益	1	6
特別損失	17	38
税金等調整前当期純利益	1,416	1,160
法人税、住民税及び事業税	547	420
過年度法人税、住民税及び事業税	—	28
法人税等調整額	12	△44
少数株主利益	7	10
当期純利益	849	745

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	前連結会計年度 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
資本剰余金期首残高	357	40
資本剰余金増加高	—	316
資本剰余金期末残高	357	357
利益剰余金期首残高	4,997	4,354
利益剰余金増加高	849	745
利益剰余金減少高	199	102
利益剰余金期末残高	5,646	4,997

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	前連結会計年度 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	295	61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105	△21
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	△19
現金及び現金同等物の増減額	△78	△158
現金及び現金同等物の期首残高	1,681	1,840
現金及び現金同等物の期末残高	1,603	1,681

財務諸表(単体) 要旨

貸借対照表

(単位:百万円)

	当期末 (平成16年3月31日現在)	前期末 (平成15年3月31日現在)		当期末 (平成16年3月31日現在)	前期末 (平成15年3月31日現在)
流動資産	9,728	9,200	流動負債	6,336	6,877
現金及び預金	1,495	1,376	支払手形	73	50
受取手形	594	439	買掛金	2,801	2,578
売掛金	4,484	3,773	短期借入金	844	1,610
商品	2,270	2,328	1年以内返済予定長期借入金	692	540
その他	908	1,307	賞与引当金	143	155
貸倒引当金	△25	△24	その他	1,781	1,941
固定資産	4,228	3,699	固定負債	3,048	1,985
有形固定資産	2,346	2,418	長期借入金	1,650	959
建物	852	910	その他	1,398	1,026
土地	1,386	1,386	負債合計	9,385	8,862
その他	107	121	資本金	623	623
無形固定資産	8	8	資本剰余金	357	357
投資その他の資産	1,874	1,272	利益剰余金	3,554	3,052
投資有価証券	479	313	株式等評価差額金	41	6
子会社株式	282	279	自己株式	△4	△2
その他	1,153	718	資本合計	4,571	4,036
貸倒引当金	△41	△38	負債・資本合計	13,957	12,899
資産合計	13,957	12,899			

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

	当期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	前期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
売上高	31,485	28,872
売上原価	27,060	24,686
売上総利益	4,424	4,185
販売費及び一般管理費	3,175	3,194
営業利益	1,249	991
営業外収益	138	132
営業外費用	141	189
経常利益	1,246	933
特別利益	2	6
特別損失	12	32
税引前当期純利益	1,236	907
法人税、住民税及び事業税	519	392
過年度法人税、住民税及び事業税	—	28
法人税等調整額	14	△41
当期純利益	701	528
前期繰越利益	134	103
当期末処分利益	836	631

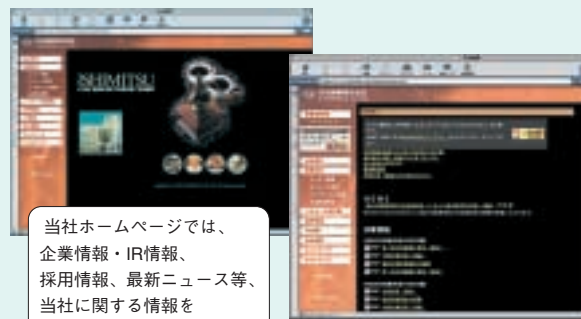
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位:円)

	第54期 (株主総会承認日) (平成16年6月29日)
当期末処分利益	836,679,455
固定資産圧縮積立金取崩額	19,578,256
合計	856,257,711
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき22円)	175,796,720
役員賞与金 (うち監査役賞与金)	40,000,000 (2,000,000)
別途積立金	450,000,000
次期繰越利益	190,460,991

ホームページのご案内

<http://www.ishimitsu.co.jp/>


当社ホームページでは、
企業情報・IR情報、
採用情報、最新ニュース等、
当社に関する情報を
提供しております。

▲IR情報

会社情報

平成16年3月末現在

会社の概要

会社設立 昭和26年5月
株式公開年月日 平成14年11月12日
会社名 石光商事株式会社
資本金 62,320万円
本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号
従業員数 152名

役員(平成16年6月29日現在)

代表取締役会長 石光 輝男
代表取締役社長 駒澤 啓之
専務取締役 中西 繁
取締役 前 亮一
取締役 草場 鉄郎
取締役 内田 十司夫
取締役 森本 茂
取締役 原口 勇成
取締役 久保 潤一
取締役 北川 誠
取締役 影山 寿一
取締役 市橋 理幸
監査役(常勤) 入江 和義
監査役 植松 尚三
監査役 樋口 進二

株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 22,400,000株
② 発行済株式総数 8,000,000株
③ 株主数 1,154名
④ 大株主

株主名	所有株式数	議決権比率
石光商事従業員持株会	485,260 株	6.10 %
石光 輝男	397,490	4.99
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	386,000	4.85
三菱商事(株)	378,370	4.75
丸紅(株)	270,270	3.39
日米珈琲(株)	254,000	3.19
(株)三井住友銀行	252,640	3.16
駒澤 啓之	207,000	2.60
伊藤忠商事(株)	200,000	2.51
竹田 和平	200,000	2.51

株式分布状況

所有者別		所有数別
10名 (0.87%)	金融機関	1,173,760株 (14.67%)
1名 (0.09%)	証券会社	6,000株 (0.08%)
38名 (3.29%)	その他の法人	1,568,420株 (19.61%)
4名 (0.35%)	外国法人	41,000株 (0.51%)
1,101名 (95.40%)	個人・その他	5,210,820株 (65.13%)
1,154名 (100.00%)	合計	8,000,000株 (100.00%)

グループ情報

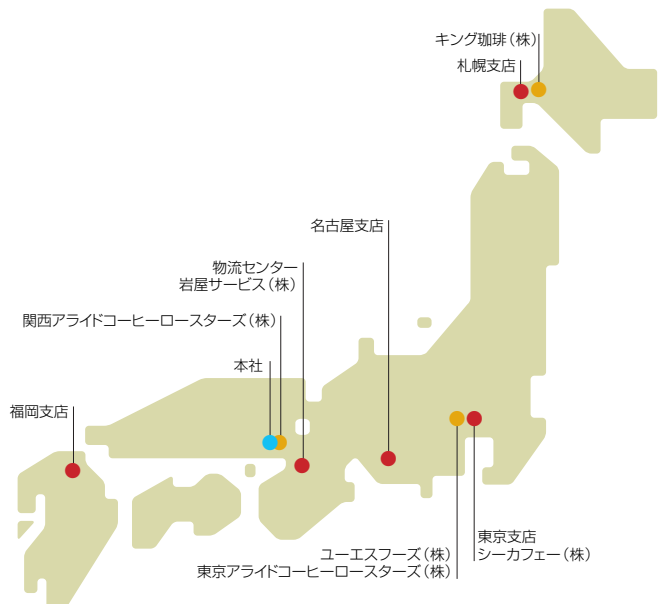
- 当 社 … 当社取扱主要品目を海外から輸入または国内で仕入れ、全国のコーヒー焙煎業者、業務用食品問屋、飲料メーカー、食品加工メーカー、量販店、外食チェーンに販売しております。
- シ ー カ フ ェ ー(株) … 当社取扱品目のアンテナショップとしてイタリアンレストランを経営しております。
- ユ ー エ ス フ ーズ(株) … コーヒー生豆を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。
- キ ン グ 珈 琲(株) … レギュラーコーヒーを焙煎し、常温食品及び冷凍食品とともに業務用として喫茶店等に販売しております。
- 岩 屋 サ ー ビ ス(株) … 関西地区における当社の運送業務を行っております。
- 関西アライドコーヒーロースターズ(株) … 当社が販売するレギュラーコーヒーの焙煎・加工受託を行っております。
- 東京アライドコーヒーロースターズ(株) … レギュラーコーヒーを焙煎し、飲料メーカー、量販店に販売しております。

〈事業所〉

- 本 社 神戸市灘区岩屋南町4-40
- 東 京 支 店 東京都大田区山王1-4-6
- 福 岡 支 店 福岡市博多区堅粕3-13-13
- 名 古 屋 支 店 名古屋市北区五反田町91
- 札 幌 支 店 札幌市豊平区美園一条6-1-31
- 物 流 セ ン タ ー 大阪市西淀川区福町1-2-24



本社



Cafetopia®

カフェトピア

新発売!

とびだす香りが
お楽しみ!
(初回開封時)

この香り!
アロマボトル

香りを閉じこめた
圧カパック!

ひきたての豊かな香氣(アロマ)を
ボトル缶に閉じこめました。



あけてからも、
香り長もち!

光も空気も通しません。
(キャップはしっかり閉めてください)



こだわりの原料!

香りの厳選コーヒー豆だけを
つかっています。

ここが新発想! **アロマボトル**とは・・・

焙煎・粉碎したての、ガスがどンドン出ている状態の
コーヒーをそのまま高压パックでボトル缶に封じこめ
るという画期的な製品です。
(特許第2809725号/製法特許出願中)



▼こんなことが実現しました。

その1

陽圧密封とコーヒー発生ガスの作用による「陽圧環境」で、製造後も長期にわたり多くの揮発性香氣が粉にとどまっています。また、酸素を追い出して不活性ガス置換密封して、遮光・ガスバリア性に優れた容器と共に、品質保持に大きな効果を上げています。

その2

開栓したときに「プシュー」という音とともに飛び出し部屋に広がるコーヒーの香り、湯を注いだときに盛り上がる細かな泡と、立ち昇る香氣は、まるで専門店の挽き売り品のようです。

その3

そのまま再密封して香り長もち! 必要量の使用後はそのまま再密封でき、密封容器に移し替える必要もなく、おいさがとても長持ちするのです。使い終わったとき、また欲しくなるのは、このおいさがポイントです。

■TEL・FAXにてご注文を受け付けております。

TEL.078-861-7782 FAX.078-806-3824

石光商事株式会社 製品部門 兵庫県神戸市灘区岩屋南町4-40 E-mail:cafetopia@ishimitsu.co.jp

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 3月31日
配当金受領株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
1単元の株式の数	1,000株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話(06)6229-3011(代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村証券株式会社 全国本支店

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行株式会社
株式会社の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料)
0120-24-4479(本店証券代行部)
0120-68-4479(大阪支店証券代行部)
ホームページ
<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

公告掲載新聞 日本経済新聞

○ただし、貸借対照表および損益計算書に関する情報は、
決算公告に代えて、下記インターネットアドレスにおいて
提供します。
<http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/ir.html#koukoku>

r100
古紙配合率100%再生紙

PRINTED WITH
SOY INK

この事業報告書は、環境に配慮し、
再生紙と大豆油インキを使用して
おります。